



乳幼児教育・保育推進事業 通信

～ 令和5年度 乳幼児教育・保育推進事業研修～

(仮称)宇治市乳幼児教育・保育支援センターが目指す子どもの豊かな学びと育ちの保障、それを切れ目なくつないでいくための教育・保育の質の向上や人材育成を踏まえ、講演、参加型研修(グループワーク、公開保育等)など、全11回の研修を企画・実施しました。



【令和5年度 乳幼児教育・保育推進事業研修】

区分	テーマ・研修内容	講師	月日
1	「乳幼児期にはぐくみたい力(非認知能力の育成)」「自立心やその芽生えに関するエピソードについて学び合う」 講義や意見交流を通して、乳幼児期にはぐくみたい力を共有する 【エピソード研修・講演】	京都教育大学幼児教育科 准教授 佐川 早季子 氏	7/25
2	「保護者対応～どう寄り添いますか～」 講義やロールプレイを通して、保護者に対する支援の仕方や相談の進め方について学ぶ【講義・ワークショップ】	宇治福祉園 理事 海老原 弘行 氏	9/7
3	「保育者や教員に必要な力について学び合う」 ～新聞紙ワークで頭と心をほぐそう!!～ 講義やワークショップ等を通して、保育者や教員に必要な力について学び合う。【講義・ワークショップ】	大谷大学附属大谷幼稚園 園長 竹田 ひとみ 氏	9/26
4	「公立保育所の公開保育から学び合う」 公開保育とその後の意見交流等を通して、子どもの主体性をはぐくむ環境構成や保育者の関わり方について学ぶ【公開保育】	京都府幼児教育センター 幼児教育アドバイザー 大橋 美智子 氏	12/15
5	「自ら学ぶ楽しさをつなぐ～小学校教員が幼児教育を学んで考えたこと～」 令和4年度京都府現職教員長期研究生の実践や意見交流等を通して、育ちと学びをつなぐ必要性について学ぶ【実践発表】	木幡小学校教諭 中尾 佳那 先生 京都府幼児教育アドバイザー 狩野 理恵子 氏	7/4
6	「幼小連携・接続実践報告から学び合う」 宇治市教育研究員(幼小接続研究部会)の実践報告や施設類型を越えた意見交流等を通して、育ちと学びをつなぐ必要性や日々の教育・保育実践に活かす具体的な視点を学び合う 【実践発表】	京都府幼児教育センター 幼児教育スーパーバイザー 古賀 松香 氏	2/22
7	「発達面で支援が必要な子どもとその保護者に対する就学前のフォローシステム」宇治市のフォローシステムについて学ぶ 【講演・グループ協議】	保健推進課発達相談員 学校教育課指導主事	8/10
8			10/23
9			11/7
10	「幼児期に発達障害が疑われる子どもたちと保護者への支援」 発達障害の理解、発達障害への対応や保護者へのフォローについて学ぶ【講演】	京都府立こども発達支援センター 小児科医師 青山 三智子 氏	12/7
11	「事例から学び合う」 療育施設等の先生の困りごと、疑問点を通して、解決策を議論することを目的とする【事例検討】	京都府立大学公共政策学部 教授 服部 敬子 氏	2/27

令和 5 年度のポイント

- (1) 乳幼児期にはぐくみたい力の共有
- (2) 参加型研修による協働的な学びの場の設定
- (3) 自園・自校での教育・保育に活用できる研修内容

参加者の声

(大切だと感じたこと)

施設類型を越えて情報共有や意見交換をすること
研修会に継続して参加することで顔の見える関係を築いていくこと
市内の就学前施設や療育施設の施設長など、身近な講師の先生から学ぶこと
講義型ではなく、ワークショップやグループ協議等を通して学び合うこと
様々な施設を参観し、実際に子どもや保育者、教育等の姿を通して学び合うこと

(その他)

研修内容が難しかったので経験年数別の研修があるとよい
年度当初に研修一覧があると関係団体の研修と合わせて研修計画を立てられ参加者しやすくなる
シリーズ化された研修があると同じ先生の研修講座を受講することで専門性が高められる



乳幼児教育・保育協働研修(全11回)
参加者数 のべ419名
就学前施設、小中学校、療育施設その他関係機関
等、保育者をはじめとする皆様にご参加いただき、
ありがとうございました。